

## 事業所職員向け 児童発達支援自己評価表

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7		・身体を動かす場合はテーブル等の配置を変え、スペースを確保している。
	②	職員の配置数は適切であるか	7		・十分足りている
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5	2	・室内に一箇所段差があるが、床にマットを敷きつめてケガが無いように配慮されている。 ・視覚支援を用いて児童に分かりやすくしている。 ・入口と室内に段差はあるが、車椅子の利用者はいないので不都合はない。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	7		・24時間オゾン発生器を使用しており、コロナ感染拡大防止対策も徹底している。 ・活動内容に応じて、環境設定している。 ・宿題の時間が重なる学習室が狭くなる時があるので、別室にパーテーションを用いて対応している。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	7		・月に一回の職員会議等で、疑問点や課題を出し、解決や評価に結びつけている。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7		・保護者様の意見もアンケートや面談で取り入れている。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7		・公開している。また自己評価にも繋げ、その後の支援や業務に活かしている。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6	1	・外部評価を行う事で改善点の明確化に繋がると認識しており今後検討していく。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7		・毎月職員会議を行い、その他にも外部研修等に参加している。 ・スキルアップの為に研修に参加出来ていると感じている。 ・毎月テーマがあり、業務の向上に繋がっている。
適切な支援の	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	7		・保護者様との面談でしっかりアセスメントを行い、児童には常日頃より課題に対しての方向性の意思確認を行っている。 ・職員が感じた課題等を児発管がまとめ、支援計画に反映していると認識している。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7		・使用していると認識している。 ・アセスメント表にも着目し、改善を積み適正にアセスメントを行い、計画に活かしている。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7		・その児童に沿った支援計画であると認識している。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7		・児童に合った支援ツールをすぐに用意し、課題内容をステップアップしている。 ・意識しながら支援にあたっている。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7		・職員間で相談しながら立案している。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7		・ある程度の流れはあるが、活動内容に応じて変化させている。

提供	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて児童発達支援計画を作成しているか	7		・児発管がその児童に合わせながら作成していると認識している。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7		・支援開始前だけではなく、児童に対しての気付きがあれば都度報告をしている。その際、一番適任の職員が対応している。 ・打ち合わせはしているが、より細かにしていても良いと感じる。 ・LINEを利用して、きめ細かい情報共有を行っている。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7		・毎日の気付きを常に共有している。 ・打ち合わせはしているが、より細かにしていても良いと感じる。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7		・日々の記録は欠かさず行っている。 ・記録をしっかりとっており、支援に繋げている。
	⑳	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	7		・職員間で感じた事をモニタリング会議で挙げ、次に繋げている。
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7		・管理者又は児発管のどちらかが必ず参加していると認識している。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	7		・対象の場合は行っていると認識している。 ・積極的に情報共有を行っている。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	7		・対象児童はおりませんが、通院が必要な児童には同行をして意見書を提出したり、主治医からのアドバイスを基に支援を行っている。 ・対象の場合は行っていると認識している。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	7		・対象児童はおりませんが、その場合は行っている。 ・可能な限り受診同行など行っている。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7		・移行する場合は保護者様の同意を得て、きちんと情報共有を行っていると認識している。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7		・移行する場合は保護者様の同意を得て、きちんと情報共有を行っていると認識している。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7		・情報交換等行っている。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	3	・コロナ禍の為出来ていない。 ・活動する機会はある、落ち着けば見学等も検討している(保育園)
	㉙	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	4	3	・会議には参加出来ていないが、関係機関とは常に連携している。 ・コロナ禍という事もあり、リモートを用いた会議があればと感じる。
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7		・日頃の状況は連絡帳で状況をお伝えし、電話やLINE等でも情報を共有している。 ・送迎時や連絡帳・電話等で情報共有を行っている。
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	7		・母だけではなく、父や祖父母等ご家族全員で支援を行っていただけるように促している。児童を中心とし、周囲の人が統一した支援ができるようにしている。 ・必要な方に対しては行っていると認識している。
㉜	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7		・丁寧な説明をしている。 ・面談時に行っていると認識している。	

保護者への説明責任等	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	7		・行っていると認識している。
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7		・どんな些細な事でもお話しいただけるような環境を整えている。またしっかりとお話を聞き、保護者様の負担が軽くなるよう心掛けている。 ・相談があった場合は行っている。
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	2	・コロナ禍の為出来ていない。 ・コロナ禍で出来ていないが、通常は毎年行っていると認識している。 ・年に一度行っている。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7		・空き状況もあるが、相談があった場合はまず見学を提案し、話を聞く。助言、また受け入れや体験等の話もしている。
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7		・毎月通信ツールを発行している。 ・通信やブログで発信している。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか	7		・各自気を付けていると認識している。
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7		・合理的配慮を行っている。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	4	・コロナ禍の為出来ていない。 ・コロナ禍で出来ていないが、触れ合いやワークショップ等を計画している。
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	7		・マニュアルを配布している。また訓練を年二回行っている。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7		・半年に一度訓練を行っている。 ・地域の防犯マニュアルも活用しながら随時行っている。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	7		・面談時等に確認している。 ・服薬が変更した場合はその都度お知らせいただいている。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7		・医師の指示書がないお子様でもアレルギー検査結果表を1部頂き、対象の児童に関しては対応している。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7		・共有している。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7		・研修で行っている。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	7		・身体拘束行う事例は過去一度もない。 ・万が一、本児と他児の安全が守れないと判断した場合、場面を変えるべく行動制限を行い職員と共に移動を行ったり、暫く抱きしめて落ち着かせたりする事があるかもしれない観点から、契約の際にご説明し、同意書を得ている。

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価を  
していただくものです。

「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。